

# 9条改憲はダメ 平和と暮らし優先の横須賀を



井坂なおし市議員



ねぎしかずこ市議員



大村洋子市議員

2019年も  
全力でがんばります

昨年の臨時国会で、9条改憲の審議入りを果たせなかった安倍首相は、今年の通常国会で再挑戦に意欲を燃やしています。絶対に許してはなりません。共闘をいっそう強め、平和憲法を守り抜きましょう。  
今年はいっせい地方選挙と参院選のある年です。  
日本共産党は、国政も、県政も、市政も暮らし優先の政治となるよう、決意新たにがんばります。  
新年も、よろしくお願い申し上げます。



日本共産党横須賀市議団

## 他の健康保険にはない「均等割」をなくして 高すぎる国保料の引き下げを

国民健康保険の保険料が高すぎて「払いたくても払えない」のが実態です。日本共産党市議団は、6月議会につづいてこの問題を取り上げました。「協会けんぽ」など他の健保は所得に応じた保険料ですが、国保には所得に関係なく人数に応じた均等割・世帯ごとの平等割料金があり、高負担の原因となっています。根本的には全国知事会でも要求しているように、国がこの分を負担し、均等割と平等割をなくすべきです。

ねぎしかずこ議員は、市がすぐできることとしてこれまで通り一般会計からの繰入をおこない、子どもの均等割をなくすことを提案しました。これによって、子ども1人あたり国保料を2万5千円引き下げることができます。是非、実現させたいと思います。

## 教科書と同じように給食費の助成が必要

教科書が有料から無料になったように、給食費の無償化が広がっています。全国で83市町村が無償、一部補助は362自治体になりました。どの子も給食費を心配せずに済むよう、横須賀でも実現できるようにすすめてまいります。

## 認定こども園で保育環境は良くなる？

保育園を認定こども園に統廃合する計画や民営化する計画がすすめられています。認定こども園に統廃合されると近所の保育園がなくなり、雨の日などは通園に大変な思いをしなければなりません。また、大きな施設で保育することが幼い子どもたちの保育環境として、適しているのでしょうか。共産党議員団は、認定こども園は保護者にも子どもにも良くないとして反対し、地域の保育園の充実を求めてきました。

## 生き甲斐を広げるシニアパスを1万円に

共産党市議団のアンケートでもシニアパス拡充は順位の高い切実な要求であることが示されました。

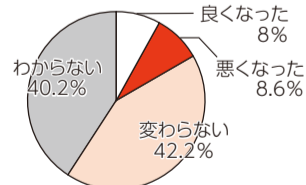
共産党市議団は、健康寿命の維持、買い物などで街のにぎわい、マイカーを減らし省エネにも役立つなど費用対効果を広く考えれば、優れた施策であると主張してきました。他市の例でも明らかです。いまより安くし、1万円（半年分）で購入できるよう引きつづき求めていきます。

## アンケートへのご協力、ありがとうございました

日本共産党市議団のアンケートへのご協力ありがとうございました。自由記述欄には、スペースをはみ出して切実な思いが綴られておりました。しっかりと受け止め政治に反映させてまいります。まだ、集計と分析の作業中ですが、一部をご報告します。



### 上地市政について

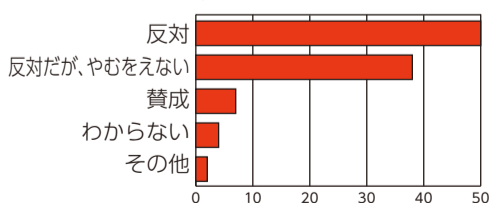


アンケート結果はどの様になるのかわかりませんが、人に言えない事情を話した様な気がして、少し楽になりました。生活の為に1年間にほぼ休みなしで働いています。各種の保険料などが期日通りに支払うのが大変です。(匿名)

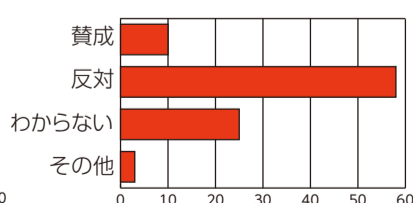
記入者のピークは70代  
記入者の年齢構成は右表の通りです。8年前の時は60代がピークでした。

年代	構成比
40代	7.8%
50代	8.7%
60代	21.2%
70代	35.4%
80代以上	19.7%

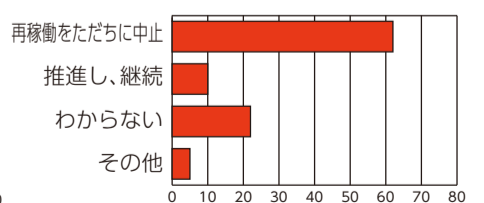
### 消費税 10%について



### 9条改憲について



### 原子力発電について



## うわまち病院問題

# 地元への事前説明と合意形成を



ねぎしかず  
市会議員

### 「移転」だけの発表は異常

8月に市長がうわまち病院の「移転」を突如発表。計画の概要も示さない「移転」だけの発表は余りにも異常です。ねぎしかず議員は9月と12月の議会で白紙撤回を強く求めました。

9月議会では、市長はスピード感と言うだけで中味

はありませんでした。12月議会で公共施設の新設・建替え・移転等の場合、地域に与える影響の事前調査が必要ではないかとの質問に対し市長は「いずれの施設についても、当然するもの」と答弁しました。それではなぜうわまち病院の場合は、事前調査や住民への説明をしなかったのでしょうか。

### 請願の紹介議員となって尽力

事前調査も説明もない市長の記者会見での突然の発表は、住民にとっては寝耳に水。議会請願の署名にとり組んだのは当然でした。

ねぎしかず議員は、5千筆もの住民の署名が添えられた請願を支持し、紹介議員にもなりました。

### 共産党は地域振興対策を含め、請願の3項目全部に賛成

請願は分割採択となり、②と③が採択されました。共産党は①②③の全部の項目に賛成であると、討論で明確に主張しました。

#### 請願の3つの項目

- ①うわまち病院移転計画を再考してください。
- ②うわまち病院の改築・移転について地域住民にしっかり説明をしてより多くの住民の理解を得るよう努力してください。
- ③上町地区の包括的な地域振興対策を検討・策定してください。



井坂なおし  
市会議員

## 安心・安全なまちづくりを

### 地域循環型の仕事おこしと 災害に強いまちづくり

家屋の耐震補強の費用が多大なものになるということから、防災意識は高くてもなかなか補強工事ができないのが実情です。

そこで井坂なおし議員は、経済的な負担を少しでも軽減するために、低い初期費用で耐震補強が可能になるよう、補助金の代理受領制度の導入を提案しました。

自治体によっては、耐震シェルター設置、マンションの耐震診断および改修工事、狭あい道路整備、アスベスト含有調査、ユニバーサルデザイン・バリアフリー改修、ブロック塀耐震化にも代理受領制度を設けています。これは災害に強いまちづくりの観点からも有効であり、地元の施工業者等にも仕事がまわり、市内循環型の施策にもなる効果があると考えます。



### 水道施設は市民の大切な財産 水道の民営化はやるべきでない！

安倍政権は臨時国会で、水道事業の広域・民営化を進める「水道法改正」を行いました。

これとは逆に、海外ではパリ・アトランタ・ベルリンなど民営化で水道への異物混入や経営問題が生じ、料金が3倍になるなど市民に不利益が生じたことから「再公営化」が進んでいます。

9月議会で井坂なおし議員は、国が進めようとする上下水道事業の民営化について質問。市長は、「横須賀市が持つ技術等が失われる心配や市民に不利益になるおそれがあることから、現時点で民営化は考えていない。」と答えました。

さらに、井坂なおし議員が水は①衛生的であること②安定的に安価で供給されること④命にかかわるライフラインであることが絶対条件と考えるかがどうかと市長の認識を求めると、市長は「認識は全く一緒」と答弁しました。

### 久里浜の石炭火力建設計画、 住民の75%が「知らない」

国際環境NGOグリーンピース・ジャパンが行った横須賀の石炭火力計画に関するインターネット調査で、周辺住民の75.5%（市内だけでは64.9%）が計画を「知らない」と回答していることが明らかになりました。井坂なおし議員は、この実態を紹介し問題提起しましたが、市長は事業者の説明に問題はないという認識でした。

## 就学援助の充実を



大村洋子  
市会議員

就学援助は、学用品費、修学旅行費、給食費など、こどもの学びを支援する制度です。横須賀市では、すべてのご家庭に「就学援助のお手紙」を配布しています。

一方で、認定基準の変更が提案され、対象者の約9%、650人がはみ出す予定です。そもそも、生活保護基準を就学援助の認定基準に用いることに大きな疑問です。今回、大村洋子議員は教育長の貧困観を問いましたが、明確な答弁を得ることができませんでした。3月議会でも引き続き追及してまいります。

#### こんな提案もしました

### ベンチのある街にしよう

高齢の方から「長くは歩けない。途中で休めるベンチが欲しい」という要望がありました。横須賀市の高齢化率は30%を超え、義足や補装具の一部支給者は市内に1092人。ベンチをまちに設置するよう研究から始めてみては？との大村洋子議員の提案に市長は「他都市の情報収集など、研究を始めたい」と答弁。みんなが気軽に街に出て行ける環境づくりが求められています。実現するよう引き続きがんばります。



## これが誇れる日米同盟？

### 繰り返される

### 米基地関係者の薬物汚染

- 原子力空母乗組員がカナダからの国際郵便で麻薬を密輸して10人以上に渡していた
- 18歳の米国籍の大学生が5人の高校生に大麻を譲り渡していた
- 原子力空母乗組員15人が麻薬（LSD）の使用に関与

大村洋子議員は今年6月9月12月と3回連続で米軍の薬物問題を取り上げました。市長は米海軍の教育プログラムを視察して、「薬物や飲酒の指導が大変熱心に行われていた」と感想を述べていましたが、その指導がしっかり当事者の胸に落ちているならば、こんなに頻りに薬物事件が起きるわけがありません。米海軍基地内がいかに乱れているか想像に難くありません。



### 日米地位協定

全国知事会は → 全会一致で抜本改定を要求  
横須賀市長は → 運用の見直しでよいと答弁

耳を疑う答弁です。運用見直しで良いとする答弁は47都道府県全国知事会の要望を否定する重大かつ深刻な答弁です。認められるわけではありません。今後も旧軍港市転換法と基本計画との整合性、日米の基地機能強化の問題等、引き続き追及してまいります。

### なぜ？いま？ 自衛隊も米海軍も 横須賀で住居の建設ラッシュ

米海軍横須賀基地内には4棟約700室の下士官宿舎が作られ、イージス艦の乗組員ら独身の兵士用。一方、船越地区の自衛隊官舎はA棟99戸B棟120戸C棟70戸合計289戸。こちらは周辺の宿舎の集約で、市内からの自衛官とその家族が大移動。

「米海軍も市民」「横須賀が日本の平和と安全のために重要な町であることを非常に誇りに思う」と言って憚らない市長。この増強についても「基地機能の強化には当たらない」と答弁しました。

